

修了評価の方法

評価基準作成者：高野 奈緒美

評価方法及び合格基準	<p>1 出題範囲</p> <p>「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」から 「(9) こころとからだのしくみと生活支援技術」までとする。</p> <p>中央法規「介護職員初任者研修テキスト（第4版）介護のしごとの基礎（全文ふりがな付き）」P.44～P.453</p> <p>中央法規「介護職員初任者研修テキスト（第3版）自立に向けた介護の実際（全文ふりがな付き）」P.2～P.349</p> <p>2 出題形式</p> <p>四肢択一形式のみとする。</p> <p>3 出題数</p> <p>択一問題 20問（配点3点） 選択問題 10問（配点4点） 全問正解 100点満点</p> <p>4 合否判定基準</p> <p>60点以上</p> <p>5 不合格になったときの取扱い</p> <p>結果発表後、直ちに1時間の補修の上、再評価を行う。</p> <p>なお、再評価にかかる合格基準は60点以上とする。</p> <p>補習料：1時間あたり5,500円（税込み） 再評価料 3,300円（税込み） 再評価を最大3回まで実施する。</p> <p>再評価料：1回当たり3,300円（税込み） 再評価を3回実施し、すべて不合格となった者には、別クールのコース受講とする。</p> <p>なお、別クールのコース受講の際には、受講料を別途必要とする。</p>
------------	--